

第六回国労東日本 ゴルフトーナメント開催!

in サンヒルズ
カントリークラブ



大宮地区本部②チームの優勝で大宮が3連覇! 個人優勝は嶋野選手(神奈川)



前年度優勝・大宮地区本部
による選手宣誓



個人成績

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS
優勝	嶋野 菊治 (神奈川)	38	41	79
準優勝	芦澤 修 (上野)	36	44	80
3位	黒川 強 (大宮②)	40	40	80



【個人優勝】嶋野選手(神奈川)



【団体優勝】大宮地区本部②チーム

団体成績

順位	団体	合計	競技者名	GROSS
優勝	大宮②	338	黒川 強	80
			牛山 伸一	83
			神山 和宏	84
			福田 隆	91
準優勝	八王子	347	佐藤 文彦	81
			山口 秀樹	85
			後藤 壽昭	87
			大竹 伸明	94
3位	神奈川	354	嶋野 菊治	79
			山本 秀樹	88
			代田 修	90
			瀬戸 強	97

国労東日本本部は9月10日、第六回国労東日本ゴルフトーナメントを栃木県・サンヒルズカントリークラブに於いて開催しました。

大会は各地方から参加された52名によって競われ、団体は東京・大宮地区本部②チームが優勝し、大宮地区本部として三連覇を達成。個人では東京・神奈川地区本部・嶋野選手が第一回大会以来の優勝を勝ち取りました。

今号は、①第六回国労東日本ゴルフトーナメント、②第17回運輸協議会全国交流会、③国労東日本勤務プロジェクト、④さようなら原発全国集会の報告とします。

競技委員長より

国労東日本本部ゴルフトーナメントも第6回大会の開催となりゴルフの競技としての浸透がなされたと思っています。

各参加地方チームも代表選考に於いて予選会を開催しているとのこと、第5回の優勝チームは連覇を果たした東京地本・大宮チームでしたが、各参加されたチームは今回何としても東京・大宮の三連覇阻止とタイトルの奪還、優勝を果たしていない代表チームは悲願の優勝という2文字に向けて調整してきたと思われます。

開催場所は、第4回ゴルフトーナメントから各地方からの参加を含めて考慮し、一昨年同様サンヒルズゴルフクラブ開催とさせていただきます。プレイに際し、同じコースでも「このバンカーは出ない」など、レイアウト等コースが判っているからの難しさもあったかと思えます。天候は、上がり数ホールでの雨となりましたが、幸いにもコンディションの問題もさほどなくホールアウトされたと思っています。

優勝は大宮②チームで大宮地区本部の三連覇という層の厚さを感じさせる結果で幕を閉じました。参加の各地方本部の御協力第6回大会も無事アクシデントも無く成功裏に終了しました。

来年度から競技ゴルフのルールが大幅改正の話もあり、選手には自分の持っている最高のパフォーマンスを出して頂けるように本トーナメントの競技ルールについても考えていくところです。

レクリエーションの一環ではありますが、ゴルフを通して国労の最重要課題でもある組織拡大を視野に入れながらの開催となっています。次回開催時には、各地方本部も組織拡大を視野に入れての大会参加をお願いするものです。(競技委員長・吉田 秋雄)



(組合員の購読料は
組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 大沼 元
編集責任者 樋口孝重

No. 812 定価 20円

2018年
10月24日

職場の矛盾 仕事の不満
国労に結集し
みんなで相談 解決へ

QRコードから
でも閲覧できます
<http://www.e-nru.com/>

運転協議会 第17回 全国交流会 9月25日～26日 開催!

分散会では国労の喫緊な課題である「組織拡大」について、国労加入された仲間から「職場での国労の方の姿を見て加入を決意した」と報告され、私達一人ひとりが職場での活動を強めていくことについて意思統一しました。

9月25日～26日、熱海市において、第17回国鉄労働組合運転協議会全国交流会が開催されました。この交流会は全国の運転職場から参加し、JR各社での労働条件改善や組織拡大について、課題別分散会などで交流を深めて、分会活動の活性化をめざしてきました。

清水会長（大阪電車区）

の開会のあいさつでは、国労本部・佐々木副委員長から「組織拡大の現状と取り組みの課題」について、東日本本部・渡辺執行委員から「社員代表者選挙での成果と課題」について、それぞれ報告しました。

「ワンマン運転問題」については、各地方での乗務員が報告され、多くの課題が

残されていることが明らかになりました。長谷川議長からは①JR東日本内の組織問題、②乗務員室の防犯カメラ設置、③「変革2027」による車両検査のCBM（状態基準保全）への移行、④アスベスト問題、⑤乗務員勤務の見直しなどが報告されました。

と、今回は、今年より平均年齢を下げる参加者を連れてくることを約束して散会しました。



国労東日本本部 乗務員勤務 プロジェクト

●1万1000名の乗務員の関心事である「寝る・食べる・トイレ」の改善は急務!

国労東日本本部運転協議会と運輸協議会車掌分科の間取り組んできた乗務員勤務プロジェクトは、JR東日本の約6000名の車掌が適用されている乗務員勤務で、最大の関心事である「寝る・食べる・トイレの時間」について、「国労東日本1号」で継続して会社との団体交渉で改善を

求めてきました。

この中では、40条予備の要員確保・拘束時間の短縮・乗務時間の制限・宿泊所や乗継所の改善・トイレの増設などについて、繰り返し現場の実態を踏まえ、指摘してきました。また、92年の「新しい乗務員勤務制度」以降、女性乗務員の配属拡大に伴う社員環境の変化もあり、改善を求めました。

●「変革2027」での柱である「乗務員勤務制度の見直し」

こうした中、会社から5月17日「乗務員勤務制度の見直し」と7月3日「賃金制度の改正について」の提

案を受けました。組合から改善を求めてきた「朝の食事時間」について5分増と改善されました。しかし、「短時間行路の新設」に伴い「拘束時間が1時間程度増える行路」、「行先手当の廃止」という点もあり、課題も残る内容となっております。

来々3月のダイヤ改正では、各支社から「新乗務員勤務制度」による提案となり、行路検討や手当の現改比較など、分会や職協ならびに地本での具体的な改善に向けた交渉が課題となります。

●「乗務員勤務制度」については、引き続き改善を

させていただきます。

乗務員勤務プロジェクトでは、会社に対して短時間行路での「時間単位の年休」や行先手当に代わる「支社別乗務手当」の新設を求めました。すべての乗務員が安心して乗務できる職場環境と労働条件を求め、引き続き乗務員勤務制度の改善をめざしていきます。



9月17日 さようなら原発 全国集会

9月17日、「さようなら原発全国集会」が開催され、8000名（主催者発表）が代々木公園に集結。国労からも参加してきました。

集会では、主催者の鎌田慧さんと澤地久江さんの挨拶ではじまり、全国各地で奮闘している仲間たち（①東京電力福島第一原発事故

た。

訴訟原告団、②東海第二原発訴訟原告団、③原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟、④辺野古の海を土砂で埋めるな！首都圏連絡会、⑤戦争をさせない・9条壊すな

総がかり行動実行委員会）から「原発はいらない」「原発の再稼働は認めない」「辺野古基地の建設反対」とたたかう決意を表明しまし

最後に、落合恵子さんから「原発の再稼働を進める安倍政権を退陣させよう」と、更なるたたかいの広がりを作る決意の力強い挨拶がありました。

集会後にはデモ行進を行い、シュプレヒコールで私たちの思いを広く訴えかけました。



最新のがん保険、**新登場。**

アフラック

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
NEW/ **生きるためのがん保険 Days**

女性特有のがんにも手厚い
NEW/ **生きるためのがん保険 Days**

はじめてダック

■募集代理店（アフラックは代理店制度を採用しております）
アベニール株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

©商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。
（引受保険会社）
アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036
AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日